

# 環境・安全レポート 2025

(レスポンシブル・ケア活動報告)



# 目次

1. はじめに	1p
2. 三重工場方針	1p
3. 三重工場の製品	2p
4. 環境・安全マネジメントシステムの状況	3p
(1) 環境・安全管理推進組織	3p
(2) 資格取得者一覧	3p
5. 環境管理活動	4p
(1) 環境目標	4p
(2) 環境パフォーマンス	4p
(3) 環境会計	5p
6. 労働安全・保安活動	6p
(1) 労働安全・保安活動目標	6p
(2) 労働安全活動の取り組み	6p
(3) 保安活動の取り組み	6p
7. 社会貢献活動	7p
(1) 地域とのコミュニケーション	7p
(2) 清掃活動	7p
8. 三重工場概要	8p
9. アンケート	9p

## 1. はじめに

ADEKA 三重工場は 1965 年の創業以来、プラスチック用樹脂添加剤等の製品を製造しお客様へ安定供給しています。安全な企業活動を運営するために、当社が掲げる「4 つの安全 (労働安全・環境安全・品質安全・設備安全)」の管理活動にこだわり業務を遂行しています。本サイトレポートでは環境安全と労働安全の諸活動について紹介します。

環境安全は「ISO14001：環境マネジメントシステム」で環境改善活動を継続的に展開し、地域環境保全や持続可能な社会形成に寄与しています。労働安全衛生につきましても「ISO45001：労働安全衛生マネジメントシステム」で安全衛生管理を万全な状態を維持し、工場で働く全ての従業員・関係者が健康で幸せな生活が持続できることを念頭に改善活動に取り組んでいます。

今後とも安全・安心であり、かつ信頼を得られる工場であり続けられるよう、工場一体となって更なる改善・改革に取り組んでいく所存です。三重工場の 4 つの安全の諸活動を皆様にご理解いただくと共に、ご意見・ご指導をいただければ幸いです。

2025 年 4 月  
株式会社  水野 乃介  
三重工場長

## 2. 三重工場方針

当工場は 4 つの安全『労働・環境・品質・設備』活動を有機的に実施してサステナビリティを推進し社会価値を向上させます。また、競争優位かつ持続可能な生産体制の確立を図り事業を拡大して経済価値を向上させます。社会価値と経済価値の高次な両立を追及して企業価値を向上させ、事業活動を通じた SDGs 達成へ貢献していきます。

1. 全ての法令、社会規範、社内規則、基本行動を遵守します。
2. 従業員の安全と健康を大切にして、ステークホルダーとのコミュニケーションを積極的に図り、安心・安全・信頼を向上させます。
3. カーボンニュートラル、省エネルギー、廃棄物削減を積極的に推進します。
4. 品質保証を徹底してお客様に満足頂ける製品とサービスを提供します。
5. DX 推進による活人化に加え、DE&I 活動により誰もが安心して働ける職場づくりを推進します。
6. 緊急事態が発生した場合は三重工場に関わる全てのステークホルダーの安全確保に努め、早期の製品供給に努めます。
7. マザーワークとして国内外の関連工場の安全活動に寄与するとともに生産技術に於いてもリーダーシップを図ります。

本方針は工場で働く全ての人に周知するとともに、必要とする内外全ての方々に公開します。

2025 年 4 月  
株式会社 ADEKA  
三重工場長

### 3. 三重工場の製品

軽くて強いプラスチックで自動車の軽量化を実現

## 「アデカスタブ NA シリーズ」



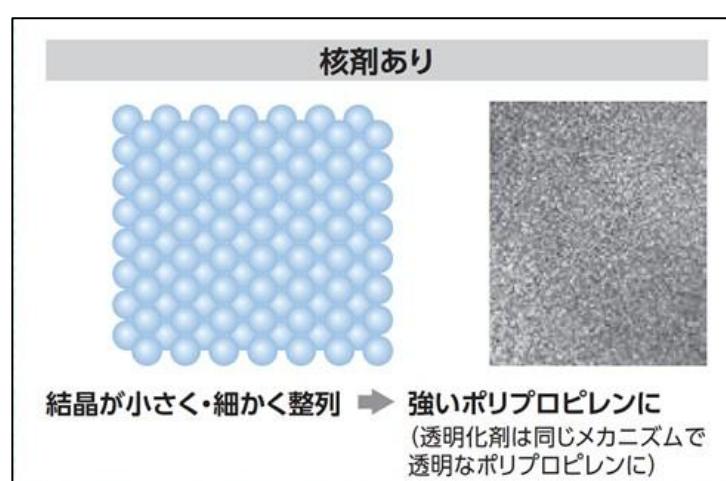
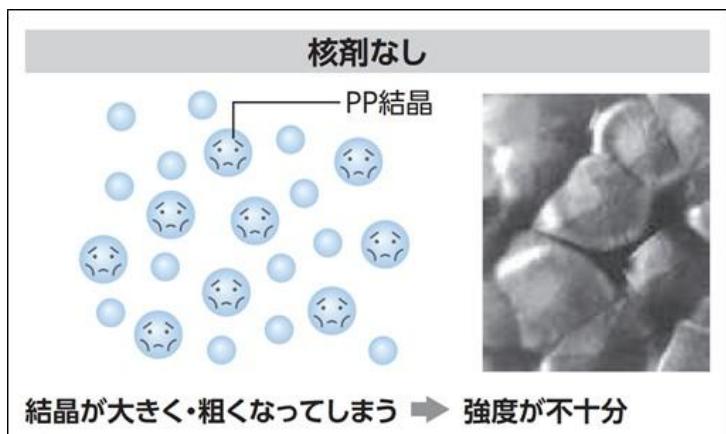
自動車や家電、電子部品、建築材料、包装材料など、様々な用途に使われているプラスチック。このプラスチックの性能・機能の向上に不可欠なのが樹脂添加剤（核剤）です。

三重工場で製造している様々な機能を持つ樹脂添加剤のうちの1つ「核剤/透明化剤」は、ポリプロピレン（PP）の結晶を“小さく”“細かく”“整列”させる働きを持つ樹脂添加剤です。

従来に比べて少ない添加量で結晶化スピードを速めることができる技術で、加工時間削減による生産性の向上に貢献しています。また近年、自動車は燃費を向上させるため、部品のプラスチック代替など車体の軽量化が求められています。部材の剛性向上に優れた特長を持っています。

### 「アデカスタブ NA-27」

自動車に使われるポリプロピレンにわずか0.1%添加するだけで、部材の厚みを7%削減でき、重さも約6kg軽くすることができる高機能核剤※であり、自動車の軽量化、さらには環境負荷低減に貢献しています。



※普通自動車（バンパーや内装等）1台当たり約90kgのポリプロピレンが使われており、当効果はその換算値。

## 4. 環境・安全マネジメントシステムの状況

### (1) 環境・安全管理推進組織

三重工場は、「ISO14001：環境マネジメントシステム」及び「ISO45001：労働安全衛生マネジメントシステム」の運用により、常駐協力会社を含む全ての部門及び階層の役割、責任、権限を明確にし、工場一体となった環境・安全の管理活動を行っています。

### (2) 資格取得者一覧

三重工場で働く全ての人々に対し、環境・安全マネジメントシステムの周知と自覚の徹底を図っています。環境・安全の継続的改善を進めるため、全ての部署で計画に基づいた教育訓練、公的資格取得に努めています。主たる資格の取得者一覧を次に示しました。

◎主たる資格の取得者一覧表（2025年11月末現在）

該当法規制	資格名称	必要人数	取得者数	対前年
大気汚染防止法	公害防止管理者 大気1種、2種	2名	10名	-1
水質汚濁防止法	公害防止管理者 水質1種、2種	2名	9名	-3
廃棄物処理法	産業廃棄物焼却施設技術管理士	1名	2名	-1
	産業廃棄物中間処理施設技術管理士	1名	1名	±0
	特別管理産業廃棄物管理責任者講習修了者	1名	5名	±0
労働安全衛生法	有機溶剤作業主任者技能講習修了者	29名	157名	-7
	特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習修了者	29名	153名	-10
	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習修了者	29名	151名	-11
	第一種圧力容器取扱作業主任者技能講習修了者	15名	90名	-3
	乾燥設備作業主任者技能講習修了者	11名	68名	+2
	フォークリフト免許取得者	94名	176名	-10
	クレーン運転業務特別教育修了者	26名	126名	-7
	1級ボイラー技士	4名	15名	-1
	2級ボイラー技士	4名	24名	+2
	ボイラー整備士	0名	6名	±0
消防法	第1種衛生管理者	1名	3名	-1
	危険物取扱者甲種	0名	39名	-1
	危険物取扱者乙種4類	28名	135名	-8
省エネ法	危険物取扱者乙種4類以外	9名	117名	±0
	エネルギー管理士	1名	7名	+2
高圧ガス保安法	高圧ガス製造保安責任者（冷凍機械）	1名	1名	-1
	高圧ガス製造保安責任者（乙種化学、丙種化学）	4名	16名	-1
計量法	計量証明事業試験	1名	3名	-1
電気事業法	第2種電気主任技術者	1名	1名	±0
	第3種電気主任技術者	0名	2名	±0
	高圧・特別高圧電気取扱業務特別教育	1名	1名	±0

## 5. 環境管理活動

### (1) 環境目標

2024年度は次の目標を掲げ活動してきました。

目標		結果	評価 <sup>※1</sup>
① 公害・環境事故の発生	0件	0件	○
② 省エネルギー推進	エネルギー原単位	対前年1%改善	1.7%悪化
	GHG <sup>※2</sup> 排出原単位	対前年1%改善	4.0%良化
③ ゼロエミッション推進	最終埋め立て比率	0.1%未満	0.02%○

※1評価 ○：目標達成 ×：目標未達

※2 GHG GreenHouse Gas (温室効果ガス)

### (2) 環境パフォーマンス

#### 1) エネルギー使用量及びGHG排出量

生産活動に伴い消費するエネルギーは、加熱用蒸気を製造するボイラーフuel用都市ガスと、動力機器・照明機器に利用する電力があります。これら関連設備を省エネタイプへ更新し常に効率的な運転を行い、省エネルギーとGHG削減目標をたてて削減活動を推進しています。2024年度はエネルギー使用量の多い製品の生産増加によりエネルギー原単位が1.7%悪化しましたが、太陽光発電設備の導入や使用電力のCO<sub>2</sub>排出係数の減少等により、GHG排出原単位が4.0%良化しました。

図-1. エネルギー使用量と原単位

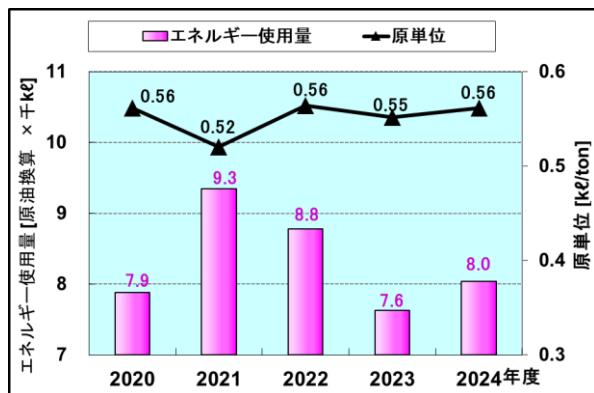
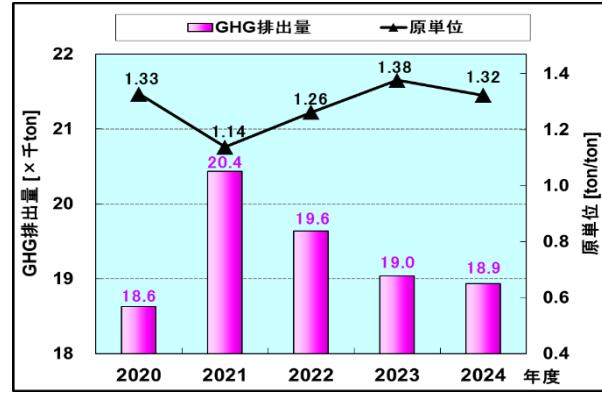


図-2. GHG排出量と原単位



#### 2) ゼロエミッション率<sup>※</sup>

生産活動で発生する廃液を、廃棄物処理（焼却）から活性汚泥処理（微生物処理）へ徐々に処理転換を図り、廃棄物発生量と埋立量をそれぞれ削減しています。2024年度はゼロエミッション率<sup>※</sup>0.02%となりました。2021年度以降、完全ゼロエミッション<sup>※</sup>を継続しています。

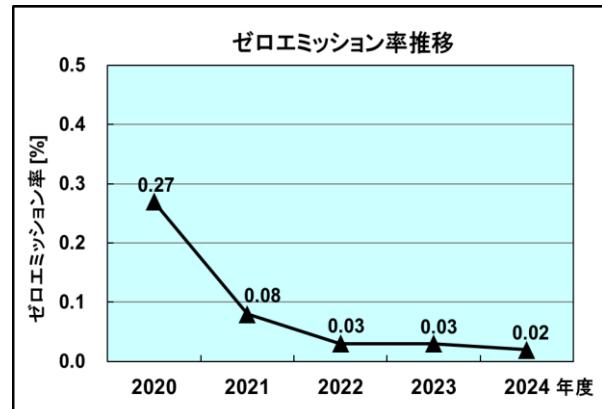
今後も廃棄物削減活動に積極的に取り組み、完全ゼロエミッションを継続していきます。

※ゼロエミッション率・完全ゼロエミッション

産業廃棄物発生総量に対する最終埋立量の比率。

当社は0.1%未満を「完全ゼロエミッション」と定義。

図-3. 廃棄物ゼロエミッション



### 3) 化学物質の排出・移動

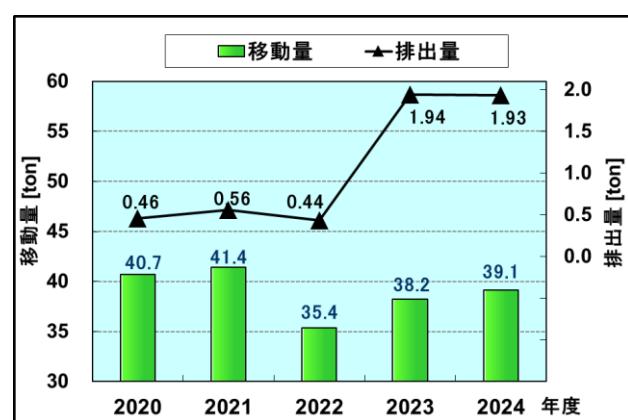
当工場では化学物質を原料としプラスチック用樹脂添加剤や情報化学品・機能化学品材料を製造しています。

これら化学物質の原料の一部は、PRTR 法※(年間 1 t 以上使用)に該当し、環境への排出量の管理が必要です。

2024 年度の対象化学物質数は 38 品目と前年度より 1 品目増加しました。生産量の増加により移動量(廃棄物)は前年度対比で 2.3% 増加したものの、排出量(大気)は 0.5% 減少しました。

今後も排出量の管理を強化し削減に努めてまいります。

図-4. PRTR (移動量 & 排出量) の推移



※PRTR 法

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

### (3) 環境会計

2024 年度の環境設備投資は 17.6% 増加し、維持管理費は 67.8% 増加しました。

単位:千円

環境会計項目	2023 年度	2024 年度	増減
環境設備投資額	123,182	144,881	+17.6%
維持管理費用	158,852	266,622	+67.8%

## 6. 労働安全・保安活動

### (1) 労働安全・保安活動目標

目標	結果	評価*
① 労働災害ゼロ	不休災害 1 件	×

\*評価 ○：目標達成 ×：目標未達

### (2) 労働安全活動の取り組み

#### 1) 2024 年度の安全成績

2024 年度は不休災害 1 件を発生させ、労働災害ゼロの目標は達成できませんでした。

安全協力会の作業員が被災しており、災害発生要因を 4M（人・設備・方法・管理）に分けて解析し、設備面・人間行動面からも、ゼロ災害を達成できる職場作りを目指していきます。

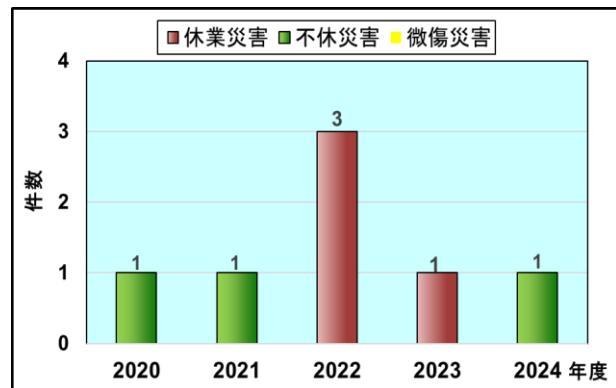
#### 2) リスクアセスメント活動

当工場では数百種類の化学品を原料に用いて様々な設備で化学製品を製造しています。製造は全て手順を定め、リスクアセスメントを行ない、不安全な設備や手順を逐次改善しています。そして、この手順を作業者へ教育・訓練し、安全確保に努めています。

#### ① ヒヤリハット報告活動

“不安全状態・場所・作業はすぐに報告”することを習慣化し、事故・災害を予防する活動を継続しています。各職場の不安全箇所・作業の他、毎月の安全テーマとして、右図に示すような「安全キャンペーン」資料を持ち回りで作成し、全職場へ教育を展開することで、安全知識・意識の向上を図っています。

図-5. 災害件数の推移



### 2月 フォークリフト安全作業強化月間

#### 荷役作業中の注意



#### 安全キャンペーン

### (3) 保安活動の取り組み

工場では地震、火災、化学物質漏洩等のあらゆる緊急事態を想定した自衛消防隊組織および、その対応手順を整備して各種の訓練を行っています。また定期的に桑名市消防本部との合同総合防災訓練、東員町消防署長をお招きしての消火栓操法コンクール等を実施しています。



合同総合防災訓練



消火栓操法コンクール

## 7. 社会貢献活動

### (1) 地域とのコミュニケーション

#### 1) 東員町商工祭

地域産業の一翼を担うべく商工会活動に積極的に参加しています。



東員町商工祭

#### 2) 地域ボランティア

毎週月曜日の朝に工場の代表者が地元団地内の交差点 2カ所で、小学校の児童に対して交通指導を実施しています。



地域小学校への交通指導員

#### 3) 障がい者支援（月に 1 度）

町内の障がい者施設で製造するパンの販売所を工場の食堂横に提供し、販売に協力しています。



パンの販売協力

#### 4) フードパントリー食料支援活動

作業員が食料品を持ち寄り、地域の子ども食堂を支援する活動を続けています。



食料品の持ち寄り

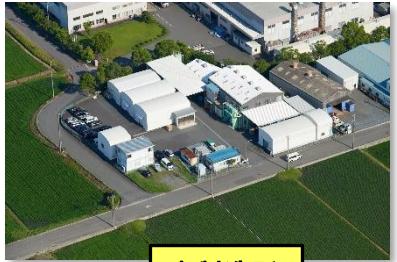
### (2) 清掃活動

工場周辺の一斉清掃を毎期（6月と 12月）実施し、周辺地域の環境美化維持に貢献しています。



周辺地域の清掃

## 8. 三重工場概要

所在地	三重県員弁郡東員町山田 3707-1 (南製造所は同町内：瀬古泉 19)	 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">南製造所</div>
工場開設	1965 年（昭和 40 年）10 月	
敷地面積	144,465 m <sup>2</sup> (43,711 坪)	
常駐協力会社	ADEKA 総合設備株、ADEKA 物流株、 (株)ケイエス、三重加工サービス株	
生産品目	塩化ビニル用安定剤、塩化ビニル・ゴム用可塑剤、 ポリオレフィン用抗酸化剤・光安定剤等の樹脂添加剤。 感熱紙用添加剤、光重合開始剤、エポキシ樹脂接着剤。	

### 工場沿革

年	沿革
1965	アデカ・アーガス化学(株)三重工場として創業開始
1970	塩化ビニル・ゴム用無毒安定剤製造棟 (N プラント) 完成
1980	ポリオレフィン用添加剤製造棟 (MP プラント) 完成
1986	抗酸化剤製造棟 (SP プラント) 完成
1990	旭電化工業(株)と合併、ポリオレフィン添加剤大型製造棟 (FM プラント) 完成
1991	ポリエステル系可塑剤大型製造棟 (PN プラント) 完成
1993	ISO 9002 (品質管理マネジメントシステム) の認証取得、 情報化学品製造棟 (CL-I プラント) 完成
1995	TPM 第 1 類受賞、FM プラント増能 (FM-II プラント) 完成
1996	ISO 14001 (環境管理マネジメントシステム) の認証取得
1999	光記録材料製造棟 (LMS プラント) 完成
2000	BS8800 (英国規格協会安全衛生管理システム規格) 適合 (2001 年に OHSAS 18001 へ切替え)
2004	FM プラント増能 (FM-III プラント) 完成
2006	株式会社 ADEKA へ社名変更
2007	FPD 向け情報化学品製造棟 (CL-II プラント) 完成、CL-II 検査棟完成
2008	中実験棟 (スケールアップ検討設備) 完成
2009	添加剤ワンパック顆粒品製造棟 (G-III プラント) 完成
2013	BCP (事業継続計画) 運用開始
2015	工場創業 50 周年
2017	高機能添加剤製造棟 (SP-III プラント) 完成
2019	FM プラント増能 (FM-IV プラント) 完成、 ISO 45001 (労働安全衛生マネジメントシステム) 認証取得 (OHSAS 18001 より移行)
2024	太陽光発電設備由来の CO <sub>2</sub> フリー電気の利用開始
2025	エポキシ樹脂接着剤製造棟 (EA-II プラント) 完成

この環境・安全レポートに関するご質問、ご意見は下記の窓口へお願いします。

作成	株式会社 ADEKA 三重工場 安全・環境管理委員会事務局	
確認	株式会社 ADEKA 三重工場 安全・環境管理責任者	西山 武志
窓口	株式会社 ADEKA 三重工場 業務部 業務課長	小林 達也
住所	〒511-0251 三重県員弁郡東員町山田 3707-1	
TEL	0594-76-2330(代)	FAX 0594-76-3011

## ご意見をお聞かせください

私たちは地球環境の保全と労働安全衛生に積極的に取り組んでいます。

今回、環境・安全レポート2025を発行いたしましたが、未だ不十分な面が多々あるかと思います。皆様よりいただいたご意見、ご感想を参考とさせていただき、より良い活動を進めたいと考えています。皆様の忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

株式会社 **ADEKA** 三重工場  
安全・環境管理委員会事務局  
FAX 0594-76-3011

1. この環境・安全レポートの記載項目はいかがですか。  
a. 物足りない      b. 普通      c. 充実している      d. その他( )
2. この環境・安全レポートの記載内容はいかがですか。  
a. 理解できない      b. 普通      c. よく理解できた      d. その他( )
3. ご意見、ご感想をお願いします。

※ お名前、ご住所などは個人情報となりますので、記入は任意です。ご記入いただいた個人情報は本アンケートの調査・分析や今後のサステナビリティ活動の参考にさせていただく目的に限り利用させていただきます。また、個人情報は適切に管理し、第三者への開示は行いません。

ご勤務先

お名前

連絡先ご住所

電話番号

FAX 番号